

## 八王子市立小宮小学校「平成19年度授業改善推進プラン」

## 【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力  
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性  
 「仲間とともに」 協調性・社会性  
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性  
 の育成に向けた教育を推進する。

## 〔教育目標〕

ゆたかな子  
 かしこい子  
 たくましい子  
 みんなとなかよく生きぬく子

## 1 地域の実態

- ・従来からの住宅と新しく建てた住宅とが混在
  - ・自然が多く、学校への協力が多。
- 2 地域・保護者の期待や願い
- ・確かな学力の定着と豊かな心の育成。
  - ・安心・安全な学校。
- 3 期待される児童像
- ・素直で元気な子
  - ・自分で考えて行動できる子
  - ・友達と仲良くできる子

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）  
 東京都の平均に比べると本校は、国語においては3.6点、算数においては1.5点、理科においては1.5、社会においては4点下回っている。八王子市内の小学校の平均と比較すると、国語は平均値は同じ、算数は3.4点、理科は0.5点上回っている。しかし社会は2.1点下回っているという結果がでている。

国語においては、読むこと、書くこと、言語事項が平均点がよくないとでている。これは児童が読解力が不足していると考えられる。読書不足が叫ばれている現代において、本校でもあてはまるといえる。読書をすることで、読解力や表現力、語彙も増えると考えられる。

算数においては、図形、数量関係が苦手である。図形については、経験不足から理解できないことが考えられる。数量関係についても、身近な生活における経験が不足と考えられる。低学年では具体物を使い、中学年、高学年にかけて、具体から抽象へと概念を広げていく必要がある。

理科・社会においては、教科書の学習だけに留まらず、実験や体験を通した学習を通して理解させていく必要がある。

## 生活面の調査の結果

読書をすることはないが21.3パーセント 朝食を食べてこない児童も数パーセントみられる。学習をするための基本となる生活習慣を家庭にも呼びかけてしっかりと確立していかないといけない。

## 《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- ・確かな学力向上のために、「分かる」「楽しい」授業の創造を重点におく。
- ・読書指導に重点を置き、児童の読解力・思考力を高める。
- ・校内研究を充実させ、指導方法を工夫する。
- ・家庭との連携をとり、家庭学習を習慣化させる。

## 《本年度の学力向上の具体策》（いつまでに、どの程度）

- ・少人数指導の充実 習熟度別の学習
- ・T・T・指導の充実 T1、T2の効果的な指導の工夫
- ・学びタイムの充実（全教員による取り組み）（毎週火曜日・木曜日）
- ・児童が主体的に活動できる授業の構築
- ・丁寧な指導の充実
- ・体験を取り入れた授業の設定
- ・教室環境を整えた授業の場
- ・学習ボランティア・図書ボランティア・インターンシップの活用
- ・生活面・行動面での指導の充実
- ・環境教育を通しての研究発表（平成20年1月28日）
- ・授業時数の確保（毎週点検）
- ・教材研究の充実

## 《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

- ・単元ごとのテストの実施
- ・漢字小テストの実施
- ・漢字まとめテストの実施
- ・計算小テストの実施
- ・提出物のきめこまやかな指導

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	読むこと 経験に差があり、一人で読める子と一人では読めない子がいる。 書くこと(表現) 書くことが見つけられない子がいる。 話す・聞くこと 聞き方は上手だが、話すことについては、意欲はあるが、声量が足りない子が目立	・読み聞かせ・音読に力を入れ、読みとりの力をつけていく。 ・話型の指導や群読の指導を取り入れていく。 ・語彙を増やすために、読書や会話の指導に力を入れる。また題材を探す指導を多くする。合わせて五感を使って表現する機会を多く取り入れ言葉にしてい練習を重ねる。	音楽	・全員が元気な声で歌を歌える。	・楽しい音楽の学習を展開する。
社会			図工	・道具を使う経験・絵を描く経験が乏しい。 ・意欲的に取り組んでいる。	・道具を使う活動を大事にする。 ・絵を描く機会を多くとる。ものの形を意識する機会も少しずつ取り入れる。
算数	・数を数える、くり上がり・くり下がりのない計算については、ほぼできている。しかし、作業のスピードには個人差があり、演算決定の力はやや弱い。	・具体物を使った練習を続ける。 ・反復練習を続ける。 ・キーワードをおさえた文章題の読みとりの訓練をする。	家庭		
理科			体育	・意欲的に取り組み、のびのびと運動をしている。	・めあてをもって取り組めるような指導を続ける。(カードの取り組み) ・ルールを守る・基本の運動・安全面の指導に力を入れる。
生活	・生活経験の差が大きく、全体的に乏しい。	身近な自然にふれあうなど、体験学習を中心にする	総合的な学習の時間		
その他(道徳・特別活動等) 道徳の資料の活用を図っていく。あいさつなどの指導をしっかりと行う。					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙数が少ない。</li> <li>・場に応じた声の大きさが出せない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや読書の巾を広げる努力をしていく。</li> <li>・発表などの機会を増やしていく。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能差が表れ始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい音楽の授業をめざして新しい曲や歌を取り入れていく。</li> </ul>
社会			図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方がまだ十分修得できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙を切る・のりで貼るなど基本的作業に慣れさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定着に時間がかかる。</li> <li>・文章題を理解することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルなどの反復学習で定着を図る。(家庭学習を含めて)</li> <li>・絵・図を利用して理解を深める。</li> </ul>	家庭		
理科			体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のぼり棒・鉄棒・マット運動などが苦手。</li> <li>・柔軟性・筋力が十分育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復練習をして経験させる。</li> <li>・体ほぐしの運動を日常的に続けていく。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜などを愛情をもって育てている。</li> <li>・身近な自然に普段から接している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場の設定、働きかけを工夫した学習プログラムを考え、実践させていく。</li> </ul>	総合的な学習の時間		
その他(道徳・特別活動等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの仕方の基礎を学ばせ、学級の問題を解決していく。</li> <li>・道徳資料の活用を図っていく。日常の人間関係のなかで、道徳的实践力が表れ始めている。</li> </ul>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から発表することは苦手なようである。</li> <li>・文章を順序よく組み立てて話すことが難しいと感じている。</li> <li>・語彙が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会や国語の授業で1分間スピーチ、発表の時間を定期的にとりたくさんの経験をつませる。</li> <li>・読書や読み聞かせの時間をとり、言語環境を整える。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーが始まり、興味・関心をもって取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶えず興味・関心を引く教材を考え、実践していく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心は高い。</li> <li>・地図や記号を読みとることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動を取り入れ、より高い興味や関心を育てる。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵など、書くものをじっくりと観察しないで、自分のイメージで書いている。</li> <li>・図工に対する苦手意識が芽生えている子がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の工夫をして、楽しい図工の時間とする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は均質の少人数グループの児童を5人の教員が交代で担当した。</li> <li>・算数に興味・関心をもっている子が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期からは習熟度別コースで行う。児童が選択したコースで学習を進める。</li> <li>・児童の習熟度に合った指導法を工夫していく。</li> </ul>	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心は高い。</li> <li>・科学的な思考までは達していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察する際にも、「花はどのように咲いているか、花びらは何枚あるか」など、観察するポイントを提示する。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な運動（走る・跳ぶ・つかむ）が全体的に苦手である。</li> <li>・手や足の筋力が弱い。</li> <li>・日常的に運動（スポーツ）する児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒やマット運動の時間を充実させる。</li> <li>・休み時間は外で遊ぶ指導をしていく。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての総合的な学習ということで、興味・関心をもっている。</li> <li>・理科・社会の延長上になって1学期は進めてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に支店を当てて進めていく。</li> <li>・自分たちが身近でできることは、何かを考えていく。</li> </ul>
その他（道徳・特別活動等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳資料の活用を図っていく。</li> <li>・話し合いの仕方を学ばせ、学級の中でいろいろなことが決められるように指導していく。</li> </ul>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	初めて触れる文章に対して読みとる力が不足している。 ・発表をする力がついてきたが、話し合うことはもう一歩。	・読書などを通して、言葉に接する機会を増やす。 音読を繰り返し行うことで読む力をつけていく。 ・話し合い活動を常に取り入れていく。	音楽	・明るく素直な子が多く歌・楽器とも好きである。 ・けじめのつかない子が何人かいる。	・音の有無を意識、徹底させるために、鑑賞の教材を増やす。
社会	・見学・調べ学習は、意欲的に取り組むが、資料から必要な情報を読みとったり、じっくり考えたりすることは苦手である。	・写真・地図・グラフ・文章資料などにたくさん触れさせて慣れさせる。 ・資料からわかることを書き出したり、発表・話し合いをしたりする活動を繰り返すことにより、思考力を高めていく。	図工	・全体的に素直で落ち着いている。人の話もしっかり聞き授業も精力的に取り組んでいる。 ・何人が集中できない子もいる。	・基礎的な能力を育てる。 ・教材を工夫して、じっくり創作に取り組ませる。 ・安全指導を十分に行う。
算数	・1学期は単元の内容により均質の少人数グループ、習熟度別グループを編集して学習を進めてきた。	・今まで以上に児童の習熟度に合った指導法を工夫する。 ・小さなつまづきを見逃さないように、ていねいに指導し、児童の意欲を高めていく。	家庭		
理科	・実験や観察には好んで取り組むものの、なぜ・どうしての理由を考えることが弱い傾向にある。 ・授業の実験・わかったことなどをノートにまとめるのが遅い。	・実験・観察の目的を明確にし、できるだけ一人一人に実験・観察の材料を用意する。 ・活動に当たっては結果だけでなく、理由や考えもしっかり記録させファイル化して次につなげる。 ・ワークシート・ノートなどの書き方をパターン化する。	体育	・基礎体力が足りない。 ・得意なことは進んで取り組むが苦手なことには、意欲がもう一歩である。	・持久走やなわとびを日常化することで体力をつけていく。 ・めあてをしっかりと持たせたり、自己評価を行ったりすることで、意欲的に取り組めるようにする。
生活			総合的な学習の時間	・環境教育での取り組みを重点的にを行い、環境への意識が強くなってきた。上級学年への連携を検討しなければならない。	・年間指導計画を検討・調整し話し合う時間を確保していく。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>道徳 ・頭でわかっているが実践力がついていない。実践力をつけるために、あいさつ運動等をしていかないと定着しない。また規範意識もわかっているが、薄れているので全校で取り組む。</p> <p>特活・低から学級活動を重点的にを行い、活発に意見交換ができるように、国語との合科の授業研究が必要である。</p>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	なかなか漢字が定着しない児童が多い。作文に対する苦手意識が強い児童が多い。	ドリルを活用し、漢字の反復練習に力を入れる。	音楽	・意欲的な児童が多いが、技術面の差が少しずつ表れている。	・全員が演奏できるレベルの選曲をし、発表の場を設ける。
社会	地名や用語を知らない児童が多い。グラフや資料を読みとれない児童が多い。	必要な知識は繰り返し覚えさせる。グラフや資料の読み取り方を段階を追って丁寧に指導していく。	図工	全体的に素直でまじめに授業に取り組んでいる。何人が集中力に欠ける児童がいる。	個性を生かした創造活動ができるように教材を工夫する。安全に気をつけて、いろいろな道具の特徴を生かした活動を工夫する。
算数	児童がT.T.の形式の授業を受けるのは初めてで、慣れていない。4年生までの学習は定着していない児童が多い。	T1,T2が連携しあい、全体の授業を進める。個別指導を大切にしてい。考える力、応用、発展させる力の育成に努める、	家庭	家庭科に興味はあるが、経験に乏しい。手先の巧緻性に欠ける。	授業の中で興味を持続させる工夫をする。授業で活動や経験を増やし、家庭でもやってみようという意欲をもたせる。
理科	・学習好きであるが、科学的なものの考え方が弱い。	・学習意欲を高めるために、ワークシートを活用し、実験・観察の機会を多く設ける。 ・個々のテストの解答内容を分析し、一人一人の理解度の把握に努める。	体育	運動は好きであるが、分野により偏りがある。	友達同士の教え合い、段階を踏んだ指導を行う。体育学習カードの工夫をする。
生活			総合的な学習の時間	基礎的知識に欠けるので、追究に困難をきたしている。	テーマをしっかりと設定することで、追究、解決に意欲をもたせる。日常的に基礎知識を得られるよう、図書資料やパソコンの活用の仕方を指導する。
その他(道徳・特別活動等) 【道徳】児童が集中して取り組めるようにするため、導入、展開、終末の工夫や板書の工夫をする。ワークシートを工夫し、心の変容等把握する。【特別活動】自主的に活動できる場面を寄り多く設定していく。学習後の自己評価ができるように工夫していく。達成感が味わえる学校行事を作っていく。					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	発言の意欲はあるが、自分の考えや気持ちの表現を的確にできない子が多い。	読書タイム等を活用し、さまざまなジャンルの図書にふれることで語彙を豊富にして自分の言葉としてつかえるようにする。	音楽	・全体的には落ち着いているが、技術面の差ゆえに、消極的な子がいる。	・全員が演奏できる教材を選曲をし、自信がもてるように工夫する。
社会	興味・関心はあるが、理解が浅い。	調べ学習や体験学習の機会を増やし、学習問題を身近に感じることで理解を深めたい。	図工	意欲をもって授業に取り組んでいる児童が多い。何人かはじっくり落ち着いて取り組めないことがある。	どの児童も主体的に取り組める教材を工夫する。平行して基礎的な技能が身に付くような題材を選ぶ。
算数	計算力がついてきているが、量的に理解できていない。	具体物を用いて量の概念を理解させる。	家庭	実習はまじめによくやっているが、それが知識としてなかなか定着していかない。	学習したことから実際の家庭生活を振り返る力を養えるような活動をしていく。
理科	学習好きではあるが、科学的なものの考え方が弱い。	・実験・観察の機会を多くし、科学的に考えることを多くする。ワークシートを活用する。	体育	それぞれ目標をもって努力をしている。ボール運動(投げる運動)が苦手である。	基礎的なボール運動を反復してやっていく。
生活			総合的な学習の時間	調べたり、発表したりする力がついてきている。人の意見と自分の相違を見たり、ふくらませる力が十分でない。	意見の共通点や相違点に目を向けられるように機会を多くもつようにする。
その他(道徳・特別活動等) 【道徳】児童が集中して取り組めるようにするため、導入、展開、終末の工夫や板書の工夫をする。ワークシートを工夫し、心の変容等把握する。【特別活動】自主的に活動できる場面を寄り多く設定していく。学習後の自己評価ができるように工夫していく。達成感が味わえる学校行事を作っていく。					